

<p><タイプ1></p> <ul style="list-style-type: none"> ・牧野富太郎の動画を見て、自分はまだやりたいことがない。後悔しないように、何か起こせる人になりたい。 ・スポーツをしている人間の一人として名人たちの言葉に興味がある。 ・池波正太郎の時間の使い方、段取りとの関係の言葉は参考になった。 ・映像だけだと正直たいくつだと感じるの、少し減らして欲しい。 ・「志が持続する」というよりは、「意志を曲げない」「何事にも屈しない」ということではないかと考えた。「継続は力なり」という言葉がしっくり合う。 ・専門分野によって言葉の使い方が違うのがおもしろかった。池波のわさびの話やテンプラの話が身近なことで面白かった。 ・自分自身、常に向上心をもっている。 	<p><タイプ2></p> <ul style="list-style-type: none"> ・65歳で暗殺されるまで原敬は日記を書き続けていたと聞いて驚いた。 ・大山康晴「賞はご褒美ではなく激励のしるしである」まさにその通りだと感じた。 ・「何気ない身近な場所にも、あまり知られていない歴史の足跡があるかもしれない」自分の住んでいる所にも歴史があるのかなど気になった。 ・人生をかけて形にした言葉は重みが違うと感じた。諦めずにずっと続けていけば、それは、とてつもないものになるのだと、学んだ。 ・みんながやらないことをやると一番になる。印象的だった。 ・大山康晴「賞はごほうびではなく激励のしるしである」とても衝撃を受けた。 ・昔の人達の意思がとても伝わった。人生にくだらない生き方であった。 ・人が真似できない芸を持つことが一流の条件であるという言葉にとても共感を持った。 ・原敬について知りたいと思った。 ・毎回のリレー講座のまとめが理解しやすく振り返ることができて学べた。エニアグラムのタイプで受け方も変わると思った。 ・池波正太郎は段取りを取っているため締切を過ぎることが無いことが、分かった。 ・成功のためにひとつの事に没頭しやり続けることで一流となり活躍する人物になる。 ・大山康晴の言葉が格好いい。 ・選挙に行った人は高齢者が多く同年代が少なかった。驚いた。 ・先生が思うゴルフ界の偉人はいますか？もしあれば教えてください。 ・今日は名言の授業だった。 	<p><タイプ5></p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分に気に入っている所の、5番の項目を見て、違うと感じる所もあるが、大体は合っている。 ・大山康晴さんの生き方に感銘を受けた。 ・最大の敵は自分の駒 と言う言葉が面白かった。 ・私は升田幸三の遺した言葉が好きです。 ・危機に直面しても取り乱されないことが大切。 ・刺身の上にわさびを乗せて醤油をつけて食べてみようと思った。 ・偉人の名言はとても心に響く。 ・お寿司の食べ方が今まで間違っていた。先生のいった「変化は進化」とても良い言葉だと思った。 ・ブログの紙はとても参考になって面白い。 ・「持続力」という力の大切さを改めて知ることができた。 ・最近の自分の生活が「パン」を取る方に傾いていると改めて思った。
<p><タイプ3></p> <ul style="list-style-type: none"> ・濱口、原敬などの偉人が暗殺された場所が実は近いところでとても驚いた。 	<p><タイプ6></p> <ul style="list-style-type: none"> ・大山康晴さんの「賞はごほうびではなく、激励のしるしである」精進して今よりももっと成長しようという気持ちが素晴らしいと思った。 ・少し騒がしい。 ・将棋の漫画を読んでいるので、大山康晴さんの話は気になり、勝ち負けの世界に生きる人達の言葉は重みがあり勉強になる。 ・池波正太郎の言葉を人生の言葉の一つとして今後生きていこうと思った。 ・原敬さんの19歳から65歳まで書いた日記が気になった。 ・偉人達の言葉を知り一つ成長したと思った。 ・人生は自分を探してそれを続けて正解のない自分になること。 ・人は人としかつきあえないと仰っていましたが、それは違うと思う。 ・自分と同じ苗字の人が出てきて驚いた。 ・自分も何か一つでも他の人が真似できないことを見つけられたら将来就職する際にアピールできるのではと思った。 ・リレー講座の内容を話してくれるのはありがたい。分からなかった所を説明してくれるから。今後もやってほしい。 	<p><タイプ4></p> <ul style="list-style-type: none"> ・将棋棋士は謙虚、堅実な方が多いと感じた。 ・特別講座に橘川先生に来てほしい。 ・牧野富太郎のライフスタイルが植物だったように、私は死にかけてもずっとラップを続けられたら本望。 ・少しの努力では大きな成果は得られないのだと学んだ。 ・継続は力なりだと思った。 ・「前進しない駒はない」「物事は段取りである」これは今の自分が胸に刻まなくてはいけないと思った。継続力が偉人の条件。 ・多くの経験や学びをしてきた人がどれだけ凄い人なのかを理解した。
<p><タイプ4></p> <ul style="list-style-type: none"> ・将棋棋士は謙虚、堅実な方が多いと感じた。 ・特別講座に橘川先生に来てほしい。 ・牧野富太郎のライフスタイルが植物だったように、私は死にかけてもずっとラップを続けられたら本望。 ・少しの努力では大きな成果は得られないのだと学んだ。 ・継続は力なりだと思った。 ・「前進しない駒はない」「物事は段取りである」これは今の自分が胸に刻まなくてはいけないと思った。継続力が偉人の条件。 ・多くの経験や学びをしてきた人がどれだけ凄い人なのかを理解した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・90年も一つの事に関して研究し続けるには、相当な志がないと出来ないと思う。こういう人が「偉人」といわれるのだなと納得した。 	<p><タイプ4></p> <ul style="list-style-type: none"> ・将棋棋士は謙虚、堅実な方が多いと感じた。 ・特別講座に橘川先生に来てほしい。 ・牧野富太郎のライフスタイルが植物だったように、私は死にかけてもずっとラップを続けられたら本望。 ・少しの努力では大きな成果は得られないのだと学んだ。 ・継続は力なりだと思った。 ・「前進しない駒はない」「物事は段取りである」これは今の自分が胸に刻まなくてはいけないと思った。継続力が偉人の条件。 ・多くの経験や学びをしてきた人がどれだけ凄い人なのかを理解した。

<タイプ7>

- ・池波正太郎の言葉に心打たれた。
- ・持続することの大切さを知ることが出来た。
- ・牧野富太郎に憧れた。
- ・日本の歴史、人物伝を勉強した。
- ・持続とは変化すること。
- ・池波正太郎、1年で1000通、毎日3通書いていた。
- ・池波正太郎「顔というものは変わる。若いうちからいい顔というものはない。男の顔をいい顔に変えていくことが、男を磨くことなんだよ」
- ・持続力が大切だと分かった。池波正太郎さんの名言がとても印象的だった。
- ・大山康晴「賞はごほうびではなく激励のしるし」この心構え、恐るべし。私に大いなる勇気を与えてくれる。
- ・昨日の図は数字が多いのに見やすかった。何十年という単位での努力は世界レベルの才能になると感じた。
- ・「変化が進化」という言葉に感銘を受けた。
- ・好きな言葉は「約束も段取り、仕事も生活も段取りである。」
- ・自発的にのびのびを振る舞い、自由な精神の持ち主というのが当てはまる。
- ・言葉の中に「一時の栄光を求めるより、長く続けることが大切」「立ち直るためには以前の立場を忘れること」など自分が向上していくための心構えとしてとても必要なことだと共感した。スポーツでも同じことが言える。

<タイプ8>

- ・池波正太郎の話に感銘を受けた。
- ・日本の歴史の人物を学んだ。
- ・棋士たちの言葉の中に「持続とは変わる」とあった。共感した。
- ・自分は自分、あなたはあなた。
- ・何かを長く続けること、という共通の話をしていて。1~2人を重点に置いて深く学びたいと思った。

<タイプ9>

- ・池波正太郎のようにその日の計画を立て、その通りに一日を過ごせるようにしたい。
- ・原敬さんのような人がいたら問題解決してくれると思う。
- ・継続は力になるという生き方をした牧野富太郎のことをもっと調べてみようと思った。
- ・大山康晴の「賞はご褒美ではなく、激励のしるしである」と言う言葉が勉強になった。
- ・違うタイプの人と意見を交換していくのも興味深かった。

<タイプ?>

- ・原敬の「日本人は何か起こるとそればかり」と言う言葉に衝撃と納得を受けた。
- ・偉人は持続力がある。
- ・世界の経済情報をこれからもっと集めて、知識として蓄えていこうと思う。
- ・継続が大事
- ・池波正太郎は短編小説に名作の多い作家。
- ・段取りを組めば問題ない。確かにその通りだと思う。
- ・講義を受けていくことで、自分のことを客観的に見ることができて、今後の役に立ちそうだった。
- ・原敬の死の覚悟を持って自分の政治を曲げなかった姿は総理の風格を感じた。毎日簡単なメモを取って、一週間に一回詳細をまとめていた。すごい人でも小さな努力があることを感じた。
- ・「賞はごほうびではなく、激励のしるしである」名誉や栄光ではなく「強さ」「実力」を身につけ続ける人がいる。人にも優しい。
- ・全画面表示にして欲しい。
- ・神の領域と言われていた人に現代の人が追い付こうとしている。時代が変わっていると実感した。
- ・原敬が19歳から65歳まで日記を書き続けたところに感銘を覚えた。
- ・大山康晴さんについて調べていきたい。
- ・自分は迷言が多いので、名言を残せるような人になりたい。
- ・今日はいつもより多くの言葉を聞いた。
- ・何かで有名になるには、一つのことを「継続」することが大事。
- ・自分と違う番号の人と自分達の番号の事を話すと違いがあって面白かった。
- ・将棋が好きなので、名人をもっと紹介してほしい。
- ・東京駅が原総理が亡くなった場所だということを知った。
- ・自分の時間とは、理想と現実の差があり、理想とは他人ではないのだろうと考えさせられる。
- ・池波正太郎「自分は、生まれた瞬間から死に向かって生きはじめる。そして、生きるために食べなくてはならない。なんと矛盾だろう」共感できた。